RPCA 製品審査基準
適合証明書

証明書番号　Ｉ２２-ＲＢ２１ 号

共和コンクリート工業株式会社 殿

貴社の「サンエスＩ型」は、当協会道路プレキャストコンクリート工技術審査委員会における審査の結果、下記のとおりＲＰＣＡ製品審査基準に適合したことを証明します。

一般社団法人 道路プレキャストコンクリート製品技術協会

会 長　棚橋　肇

記

1. 基本事項

製 品 名：サンエスＩ型

製品区分：Ｉ群製品

ブロック積擁壁（控え 35cm の大型ブロック積）

証明書有効期間：2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

2.申請区分

品種区分		申請区分	
製品区分	Ｉ群	重要度	重要度2
大分類	擁壁工	要求性能;常時	性能1
中分類	ブロック積擁壁	要求性能;地震時	L1=性能2、L2=性能3
小分類	控え35cmの大型ブロック積	規格の範囲	直高=7000mm
申請区分	製Ｉ-擁ブ-2	設置環境・条件	

3.製品審査結果

審査項目及び審査基準					判定	摘要条件
中項目	小項目			審査基準		
荷重	自重	単位体積重量	無筋コンクリート	土質に合わせた単位体積重量であること。	clear	
			裏込め土	経験に基づく設計法	clear	
	土圧			経験に基づく設計法	clear	
	載荷重			経験に基づく設計法	clear	
	荷重の組合せ			経験に基づく設計法	clear	
	積ブロック			JIS A 5371に適合していること。	clear	
	コンクリート		設計基準強度	製品;σck=18N/mm²以上であること。	clear	
				胴込め;σck=18N/mm²以上であること。	clear	
材料及び設計諸定数	裏込め土			経験に基づく設計法	clear	
	土の単位体積重量γ			経験に基づく設計法	clear	
	内部摩擦角φ、土質			経験に基づく設計法	clear	
	基礎地盤の土質定数	擁壁底面と地盤との摩擦係数μ		経験に基づく設計法	clear	
		基礎地盤の許容支持力度		経験に基づく設計法	clear	
許容応力度	積ブロック	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度		JISの場合は証明書で確認できること。 それ以外は道路PCa工指針によること。	clear	
		コンクリートの許容せん断応力度		JISの場合は証明書で確認できること。 それ以外は道路PCa工指針によること。	clear	
	胴込め、裏込めコンクリート部（無筋）	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度		経験に基づく設計法	clear	
		コンクリートの許容曲げ引張応力度		経験に基づく設計法	clear	
		コンクリートの許容せん断応力度		経験に基づく設計法	clear	
安定性の照査	滑動		安全率	経験に基づく設計法	clear	
	転倒		合力の作用位置	経験に基づく設計法	clear	
	支持力		許容支持力度	経験に基づく設計法	clear	
部材の安全性の照査	解析方法			経験に基づく設計法	clear	
	構造耐力	擁壁本体	曲げ応力度	経験に基づく設計法	clear	
			せん断応力度	経験に基づく設計法	clear	
		積ブロック	曲げ応力度	コンクリート打設時及び施工時の外力に対して構造的に問題がないこと。 JISの場合は審査免除	clear	
			せん断応力度	コンクリート打設時及び施工時の外力に対して構造的に問題がないこと。 JISの場合は審査免除	clear	
	耐久性		積ブロックの純かぶり	道路PCa工指針 第2編 コンクリート [14]～[15] 4.2鉄筋のかぶり JISの場合は審査免除	clear	
			場所打ち部の純かぶり	場所打ち部分は70mm以上(構造鉄筋)	clear	
構造細目	水抜き孔の径、配置状況			擁壁に2～3m²に1カ所の割合で内径5～10cm程度水抜き穴を設置していること。	clear	
その他の仕様	擁壁の根入れ		根入れDf	基礎上面から50cm以上確保されていること。	clear	
	基礎コンクリート		設計基準強度	JISの場合は審査免除 それ以外は設計・施工マニュアル等に仕様の記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工編 [49] 6.1 ブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[50] 6.2 設計方法、[52] 6.2.2 ブロック積擁壁の配置上の留意点及び[64] (3)基礎の検討)	clear	
			厚さ	JISの場合は審査免除 それ以外は設計・施工マニュアル等に仕様の記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工編 [49] 6.1 ブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[50] 6.2 設計方法、[52] 6.2.2 ブロック積擁壁の配置上の留意点及び[64] (3)基礎の検討)	clear	
	基礎材		使用材料	JISの場合は審査免除 それ以外は設計・施工マニュアル等に仕様の記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工編 [49] 6.1 ブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[50] 6.2 設計方法、[52] 6.2.2 ブロック積擁壁の配置上の留意点及び[64] (3)基礎の検討)	clear	
			厚さ	JISの場合は審査免除 それ以外は設計・施工マニュアル等に仕様の記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工編 [49] 6.1 ブロック積擁壁の特徴と適用範囲及び[50] 6.2 設計方法、[52] 6.2.2 ブロック積擁壁の配置上の留意点及び[64] (3)基礎の検討)	clear	
	排水工		排水工の形状	道路PCa工指針 第4編 擁壁工 3.7排水工 [28]	clear	

3.製品審査結果

審査項目及び審査基準				判定	適要条件
中項目	小項目		審査基準		
施工	施工マニュアル	施工の手順	施工マニュアル等に記述、仕様があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工編 [53] 6.3 施工方法と施工上の留意点)	clear	
		施工上の留意点	施工マニュアル等に記述、仕様があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工編 [53] 6.3 施工方法と施工上の留意点)	clear	
		施工上の適用条件	施工マニュアル等に記述、仕様があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工編 [53] 6.3 施工方法と施工上の留意点)	clear	
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	JISの場合は審査免除 それ以外は製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [53] 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]～[17]	clear	
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置	JISの場合は審査免除 それ以外は製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [53] 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]～[17]	clear	
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置	JISの場合は審査免除 それ以外は製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工 [53] 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]～[17]	clear	
材料の品質	品質	使用する材料の品質	JISの場合は審査免除 それ以外は製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工[42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2．1 製造方法 2．1．2 材料の受入と貯蔵)	clear	
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	JISの場合は審査免除 それ以外は製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工[42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2．1 製造方法 2．1．2 材料の受入と貯蔵)	clear	
	貯蔵	貯蔵の管理方法	JISの場合は審査免除 それ以外は製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第4編 擁壁工[42]～[43] 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2．1 製造方法 2．1．2 材料の受入と貯蔵)	clear	

審査委員会
委員長　宮川豊章